

コープふくしま大震災対策ニュース

【がんばっぺ編 6】

2011年3月29日発行

作成・対策本部にて取材
中のライター筑波

1 共同購入再開へ向け、動き出しました！



4月第2週からの共同購入再開へ向け、コープふくしまが動き出しました！

3月28日から緊急物資とチラシの配布と、持ち込み供給も始まり、福島南支部内のセンターには活気がみなぎっています。本日は、配送スタッフの菅野麻弥（かんの・まや）さんの車に同乗させていただき、福島県伊達郡国見町の組合員さんを訪問しました。

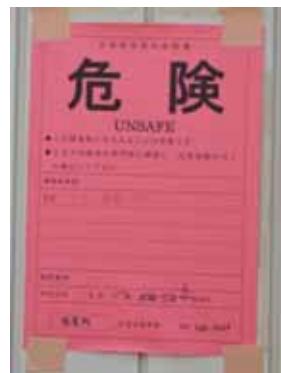
国見町は、地盤の関係

で、町役場のある藤田地区が特に大きな被害を受けています。

すでに、国見町災害対策本部の「応急危険度判定結果」が行われ、「危険」という赤紙のお宅は立ち入ることができない状態です。そのため、自宅に戻るのは、昼間、片付けに来るだけで、夜は親類宅などで過ごすという組合員さんもいました。

被害は小さくとも、余震の不安などから、震災後は避難所に身を寄せていたという組合員さんも多いようです。

そういった日々のなか、コープふくしまからの緊急支援物資（ウーロン茶、豆腐、納豆、糸こんにゃくなど）とチラシを持って訪ねたことで、「生協さん、来てくれたの？」「支援物資？わざわざ持ってきててくれたの？」と驚きの声と共に歓迎してくれました。そして、震災直後の状況や、現在の生活、今後の



不安などの話が堰を切ったように続きました。なかには

「震災の時から、無我夢中で過ごしてきたけれど、今になって疲れが出ちゃって……」と淡々と話される方もいました。災害はその規模や、被害を受けた人の数が大きく取りざたされますが、被災した1人1人の心に様々な影を落としていることを改めて思います。

国見町には高齢の方だけの世帯も多く、「長蛇の列に並びたくないで買い物に行かない」、「深刻な燃料不足のため外出は控えている」と切実な声も聞かれ、共同購入の再開を本当に喜んでくれました。

菅野さんが担当する64軒のうち留守の方でしたが、在宅していた組合員さん、1人1人の話に耳を傾け、共感しながら、チラシを配っている姿が印象的でした。

「今日はいつもより時間がかかってしまいましたが、皆さんと直接話して、ご無事が確認でき、本当によかったです。」とホッとした表情で、話してくれました。

2 圏内各地から共同購入再開を喜ぶ声！

28日から県内各地で始まった緊急支援物資と、共同購入のチラシ配布。各地の組合員さんからたくさんの声が寄せられています。その一部をご紹介します。

* * * * *

- ・困ったときに力になってくれる。助かります。
ありがとう(郡山支部)
 - ・こんなにひどい状況で来てくれると思わなかつた。ありがとう。(相双支部)
 - ・ミルクを作るのに水を買い置きしているけれど、1本でも多くほしいので助かる。(郡山支部)
 - ・家が半壊して当分利用できませんが、落ち着いたら必ず利用します。(いわき支部)
 - ・お店に行くガソリンがなかったので、再開してくれて助かります。(南支部)
 - ・津波の被害を受けた地区までチラシを届けてくれるなんて本当にありがとうございます。生協の組合員でよかったです。(いわき支部)
 - ・3.6牛乳が早く飲みたいです。(北支部) (この他、乳製品の取り扱い再開を望む声が多数)
 - ・すぐに食べられるパンが欲しいです。パンの取り扱いを早く再開してほしい。(相双支部)
 - ・米、水、納豆などの支援物資、店にもなく、食べたかったのでうれしかったよ(北支部)
 - ・ガソリンがないなか、ご苦労さまです。(南支部)
 - ・わざわざ来てくれてありがとうございます。これで生活の一部が成り立ちます。(いわき支部)
 - ・以前購入した冷凍食品が残っていたので、食べ物がないときに、とても助かりました。生協を利用して良かった！(いわき支部)
 - ・トイレットペーパーがなくて困っていたので、助かりました。(北支部)
 - ・チラシが届くのを待っていました！皆様にもよろしくお伝えください。(いわき支部)
 - ・お互いに復興のためにがんばりましょう。(いわき支部)
- * * * * *



▲いつもと違う商品内容をていねいに説明する菅野さん

3 支援スタッフも続々到着

昨日の夜、日生協、名古屋大学生協に引き続き、コープさいたまからも支援スタッフが到着しました。28日に到着した支援スタッフは、合計23名です。これまでに20以上の全国の生協から人的支援が到着しています。

4 春がそこまで

朝晩は冷え込む福島市ですが、昼間は、10度を超えて、春らしい晴天に恵まれています。

訪問した組合員さんのお宅の多くには、春の訪れを教えてくれる花が咲き始めました。

ある組合員さんは、震災の爪痕の残る庭にきれいに咲き始めた水仙を見ながら「地震が来ても津波が来ても自然はこうしてちゃんと花を咲かせてくれるんだからすごいよね」と話してくれました。

福島の春は、すぐそこまで来ています。

